所管課	危機管理室

施策の大綱	まちづくりの目標(章)	施策分野(節)	施策
	第4章 安全安心都市	04 防災	03 被害を迅速に回復し再発を防止する

事業：被災地・者支援事業

整理番号 1153

目的

本市に直接影響のない地域で、大地震等の甚大な被害が生じる災害が発生した際に、復旧・復興に向けて被災地や被災者を支援することを目的とする。

目標

大地震等で甚大な被害が発生した地域における一定の復旧・復興

事業費・財源

事業費(決算額)(千円)		204
財源内訳	一般財源	204
	国府支出金	0
	地方債	0
	その他特定財源	0

コスト情報・評価

総コスト(千円)		1,791
内訳	事業費	204
	人件費	1,587
	公債費	0
一人あたり(円)		16
世帯あたり(円)		38

総合評価：A

妥当性	A
効率性	A
有効性	A

評価理由：市の人的・物的支援を含め市民レベルの支援活動も継続的に行っているため。

貢献度

施策に対する事業貢献度：A

根拠：被害を迅速に回復し再発を防止する

今後の方向性

長期的な職員の派遣（大槌町）1名　平成25年4月～平成26年3月
平成25年以降も市民レベルの支援活動を後援する。

事業優先順位 1

細事業：東日本大震災支援事業

整理番号 01

目的

東日本大震災で、甚大な被害が生じた被災地や被災者を支援することを目的とする。

目標

継続して被災地の支援を実施する。

事業実施主体	直営	事業開始年度	平成23年度	根拠法令	

事業費・財源

		平成24年度	比較
事業費(決算額)(千円)		204	
財源内訳	一般財源	204	
	国府支出金	0	
	地方債	0	
	その他特定財源	0	
		0	
		0	

コスト情報・従事職員数

		平成24年度	比較
総コスト(千円)		1,791	
内訳	事業費	204	
	人件費	1,587	
	公債費	0	
一人あたり(円)		16	
世帯あたり(円)		38	
参考	職員数(人)	0.20	
	再任用職員数(人)	0.00	

今後の方向性

長期的な職員の派遣（大槌町）1名　平成25年4月～平成26年3月。
平成25年以降も市民レベルの支援活動を後援する。

評価

妥当性	効率性	有効性	対象者
A	A	A	東日本大震災の被災地および被災者

事業：被災地・者支援事業

東日本大震災の災害支援として、支援対策本部を設置し各部局の連携により取り組んだ。

細事業：東日本大震災支援事業

１．東日本大震災支援事業

平成２３年３月１１日に発生した東日本大震災の被災地を支援するために、市内ボランティア住民が大槌町を訪問しテラコッタドールなどを大槌町住民と一緒に作製するなどの応援プロジェクトを実施した。また、「大槌町を支援する河内長野市市民の会」が発足し、平成２４年８月には、大槌中学校吹奏楽部の生徒等を招き、本市の中学生と音楽を通じて「きずなコンサート」を開催され、市は後援をした。

平成２４年５月２０日（日）大槌町訪問　２３人

平成２４年８月８日（水）きずなコンサート